



東埼玉テクノポリス

Now

2024年

1

月号

東埼玉テクノポリス協同組合 広報

発行責任者 和 佐 見 勝

編集責任者 上 田 昭 彦



謹賀新年

年頭へ挨拶

東埼玉テクノポリス協同組合
理事長 和佐見 勝



新年あけましておめでとうございます。
皆さまには健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃より当協同組合に対するご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

■ 昨年を振り返って
本年も組合活動に皆様のお力添えと引続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年末に今年の漢字として「税」が選ばれました。税が選ばれた理由は防衛費増額に対する増税、所得税などの定額減税の議論などが行われたことに加えて、インボイス制度（消費税の仕入税額控除）の導入やぶ

るさと納税のルール厳格化など、生活に直結する増「税」・減「税」の動向が注目されたことが理由のようです。2位は「暑」で、夏の平均気温が気象庁統計を取り始めてから最も高くなったこと、12月なっても各地で夏日が続出し寒暖差が大きく、体調不良になった方が多かったことと思います。3位は「戦」で、昨年引き続きロシアによるウクライナ侵攻や、イスラエル軍とイスラム組織ハマスの軍事衝突などの不安が続いていること等、世情を表しております。

新型コロナウイルス感染症の「5類」移行昨年5月8日に新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザと同様の「5類」移行となりました。オミクロン株が主流になってからは発生初期と比較し重症度が低下しており、陽性者の自宅待機や入院勧告といった強力な措置を行うほど国民の生命及び健康に重大な影響を与える恐れがある状態とは考えられないとの判断が理由です。

1

厚生労働省の専門家会合・感染対策の「5つの基本」

- 1) 「体調不安や症状があるときは自宅で療養するか医療機関を受診すること」
- 2) 「その場に応じたマスクの着用やせきエチケットの実施」
- 3) 「3密を避けることと換気」
- 4) 「手洗い」
- 5) 「適度な運動と食事」

特に高齢者や持病のある人と会うときは体調管理に引き続き留意願います。

組合では、昨年10月20日に季節性インフルエンザ予防接種(負担補助)を旭地区センターで実施し、23社349名(昨年は325名接種)の方が接種を受けました。今後も組合企業様の従業員健康管理の一助として計画し実施して参ります。

■東埼玉道路・松伏町田島まで
2025年春頃に開通
昨年11月29日に国土交通省関東地方整備局は今年度

4回目の事業評価監視委員会を開催し、国道4号「東埼玉道路(延伸)」事業について再評価がなされました。



(画像:関東地方整備局)

再評価は、様々な課題により事業費が約98億円の増額見込みとなったことを受けて行われました。道路交差部の設計見直しによる右折レーンなどの付加車線の追加設置、発生土運搬計画の変更、想定以上の埋設廃棄物の処分費などが主となつていきます。また、労務費や材料価格の上昇による影響でも約13億円の増額となりました。この事業は東埼玉道路の「側道」に相当する箇所のほか、既存の開通部には広大な中央分離帯が広がっており、そこへ建設する自動車専用部(高架)は別途事業が進んでいます(NEXCO東日本有料道路の見込み)。現在の終点から松伏町の県道浦和野田線(江戸川野田橋に通じる道路)までの約3.8kmは来年2025年春頃の開通予定です。交通量増大で周辺道路渋滞は酷くなっており早期開通を切望しています。いよいよ残り1年余りであり待ち遠しいところです。

■組合行事や各種交流活動などを再開

組合では、新型コロナウイルス感染症状況の鎮静化に伴いまして、各種スポーツ大会や研修旅行等を順次再開いたしました。本年は1月26日に新春講演会・新年賀詞交歓会を通常開催で予定しております。企業にとつて人材の確保・育成は大きな経営課題であり重要度を増しております。近年は子育てと仕事の両面を促進する職住接近の取組みが一層求められており、コミュニケーション活発な働きやすい職場や地域づくりが欠かせないと考えられています。組合活動も日頃の交流融和が大切な基盤となりますので積極的な参加をお願いいたします。また、組合では行政関連団体が主催する技能取得講習・研修受講に対する補助金交付を行っております。昨年は延べ68名に対し補助金を支給いたしました。これは一昨年と比べて200%以上の申請件数であり、組合企業経営者の皆様が従

業員の職業能力開発や再教育に積極的に取り組まれた結果と想います。対象となる講習・研修には補助金交付を引き続き実施いたしますので、活用頂きたいと存じます。毎月の定例理事会は、吉川市と松伏町から商工担当部署の役職者に出席頂いております。円滑な情報交換を行っております。政策面で民間活力を引き出す産業振興や環境整備等の施策に、今後も一層の注力をお願いしたいと存じます。

■令和6年は「辰年」 選挙・決断・目的共有の年

今年「選挙」の年と言われます。1年を通じて多くの重要国で、例えば台湾・インドネシア・ロシア・韓国・インド・米国・・・日本も昨年末の岸田政権の状況のなかで本年は自民党総裁選の年で衆議院解散総選挙となるかもしれません。「決断」は日本が約30年振りの脱デフレ・金利上昇・2024年問題（物流・建設・医師）働き方改革、過度な円安による物価上昇

長期化の状況にあります。米国ではインフレと金融引締め長期化で景気後退が不透明であり、中国では国内外問題抱える経済（不動産不況・失業者急増・物価低迷）・・・、政治や経済動向が企業経営に様々な影響を与えて決断する場面があるように思われます。「目的共有」は計画を円滑に進めるには全員の認識が揃う状態こそ質や効率の向上が期待できます。問題はどれだけ前向きなエネルギーに変えられるか。そこが知恵の出どころと思えます。技術蓄積と人財蓄積に励み生かして力強く大空へと昇っていく龍のように上昇の年にしたいものです。

新しい年が組合企業経営者ならびに従業員ご家族皆様にとつて、より良き年になるよう心より祈念致しまして、年頭挨拶とさせていただきます。



2023年12月1日よりアルコールチェックの義務化が実施

アルコールチェックが必要となるものは、乗車定員が11人以上の白ナンバー車1台を保持、または白ナンバー車5台以上を保持する企業です。このとき原付を除くオートバイは0.5台換算されます。



令和5年8月編

交通安全情報

安全運転管理者の皆さま

2023年12月から 安全運転管理者による
運転前後のアルコールチェックに
アルコール検知器を用いることが義務化されます。

※2023年12月1日から、安全運転管理者の業務に、下記の業務が加わります(下線部の部分)!!

運転の前後の運転者に対し、目視等により酒気帯びの有無の確認をするほか、アルコール検知器を使用して確認を行うこと

② 確認の記録を1年間保存し、アルコール検知器を常時有効に保持すること

TOKYO SAFETY ACTION

年頭へ挨拶

青年部部长 井口隆生
(三生技研株式会社代表取締役)



新年あけましておめでとうございます。
皆さま。

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はコロナも5類に引き上げとなり、経済活動も本格的に活発化を始めた年と感じると共に電気、燃料をはじめ様々なモノが値上がりとなり、皆様色々苦勞されたのではないのでしょうか。



エネルギー資源の乏しい我が国は地球温暖化も対策も合わせ環境への取り組みも活発となってきたおり、再生可能エネルギーの利用の拡大、排出される廃棄物を最小限に抑えるための取り組みが本格化しています。大手ゼネコン各社もCO2削減を目的とした建造物に木を使用するための研究開発をかなり苦勞しながら行っております。

我々も廃棄物の分別や使えるものは再利用する、テクノポリス全体で実施しているクリーンデイなど、将来のために今できる目の前の小さな行動を大切にしていかなければならないと考えさせられます。

2023年の記憶に残る出来事といえば、長年のパレスチナ問題から10月7日イスラム組織ハマスによるイスラエルへの大規模な攻撃を行ないイスラエルは報復作戦を展開、パレスチナ自治区ガザへ侵攻しイスラエル軍とイスラム組織ハマスとの戦闘が続いています。日々老若男女

問わず犠牲が出ており、ロシアのウクライナ侵攻も決着していません。犠牲者は一般市民も多々含まれることに悲しみを覚えません。また国際情勢が安定しない限り物価上昇もやむなしという面もあるかと思えます。早く安定するよう願っております。

そんな中でも明るい話題といえば大谷翔平の活躍でしょう。ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)に端を発した大谷ファイバー。WBC決勝九回の大谷はチームメイトのトラウトと対決、フルカウントからの見事三振を奪い日本を優勝に導きました。テレビで見었지만物が語のような状況と結果にしばれました。その後も続く大谷のメジャーで活躍、移籍の話、2023年末ではテレビで見ない日はないといっても過言ではないくらい日本を盛り上げてくれた人であったと思います。

大谷翔平の凄いところは非常にストイックなところだと考えます。生きている時間のすべてが野球に繋がっているのではない

かと思うくらいです。もし彼が別のものに興味があったのであればその業界でも頂点をとれていたのではないかと想像します。今年も怪我なく健康にメジャーリーグで活躍し日本中に夢を与えて欲しいです。

さて、青年部の活動としてはやと各イベントが開催してもよいのではないだろうか。という雰囲気の中、募集すると意外と応募が少なく開催条件を満たさないことが多々ありました。

2023年前半はまだまだコロナに対してきっちり線引きしている企業が多いイメージと、コロナの期間に各社イベントに対す

る熱量がかなり減ってしまったようにも感じております。それでも昨年最終イベントのフットサル大会では混合チームも含めなんとか開催条件ぎりぎりの4チームでの開催となりましたが、久しぶりともあってかなり盛り上がったのではないかと思われます。青年部メンバー自体がコロナ前と入れ替わりもあり、不慣れになってしまった部分もありますが、新しいメンバーの色々なアイデアも出てきており今年度は更なるイベントも視野に入れつつテクノポリス工業団地を盛り上げていきます。





第3回 フットサル大会 オーム電機チーム



オーム電機の皆さん

12月10日(日) アスレティッククラブ北越谷において4社4チーム参加で開催しました。4年ぶりの開催でしたが、参加された皆様の熱のこもったプレーは健在でした。
前回に続きオーム電機チームが連覇を達成しました。次回以降、どのチームが連覇を阻むのを楽しみます。

新年賀詞交歓会のご案内

- ◆日時 1月26日(金)
15:00～ 受付開始(15:30～ 講演会開始)
- ◆開催場所 吉川市 福寿家
吉川市平沼51 TEL:048-982-0019
- ◆次第 1、新春講演会(午後3時30分～午後4時40分)
講演 『政治を斜めから観るとおもしろい』
講師 松崎菊也(戯作者)
※新春講演会のみご参加の場合は、参加費は無料となります。
2、賀詞交歓会(午後4時50分～)
- ◆会費 1名 10,000円 賀詞交歓会参加費として当日申し受けます。



東埼玉テクノポリス協同組合 青年部 主催
第16回 バドミントン大会のご案内

◆日時 **2月17日(土)** 9:00 集合(9:30試合開始)

◆会場 **旭地区センター体育館**
埼玉県吉川市旭6-4



◆会費 **1組 1,000円**
当日、会場にて受け付けます。

◆募集対象 **ダブルスのみ(男女混合ペア可)**
※シングルスは実施しません。なお、ペアが組めない方も単独でお申し込みいただけます。事務局にて調整致します。
当日はリーグ戦の後、休憩を挟み順位ごとのトーナメントを各コートで行います。

◆申し込み **2/2(金)** までにFAXまたはメールでお申し込みください。
東埼玉テクノポリス協同組合 青年部 寺門宛
FAX:048-991-0883 MAIL:y-terakado@momotaro.co.jp

◆持ち物 **ラケット、体育館シューズご持参ください。**

●会場に駐車場はございますが、他利用者もおりますのでなるべく各社乗り合わせで来ていただくようお願いいたします。

